

## ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/u-bon (ブログ『Viva! Ubuntu!!』 <http://viva-ubuntu.com/>)
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.04」(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2010年5月31日発行



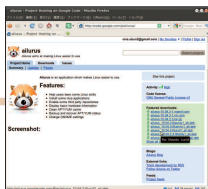
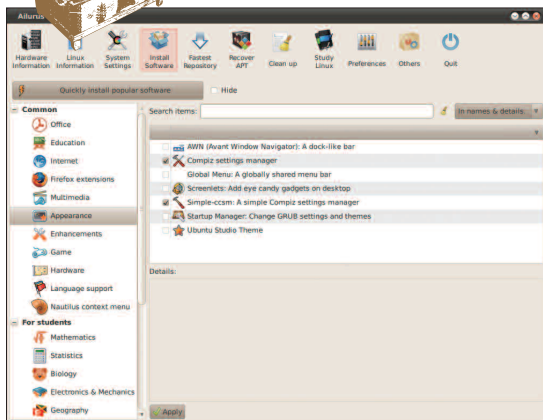
お宝 その1

システムツール

# Ailurus

スミからスミまで!  
Ubuntuを徹底的に  
GUIでカスタマイズ!

<http://code.google.com/p/ailurus/>



さらに高度に、きめ細かくシステムをチューン  
システムをチューン  
従来、Linuxのシステム変更の多くは、設定ファイルをテキストエディタで書き換えるという、一般ユーザには馴染めない作業が必要だった。前号でも紹介した「Ubuntu Tweak」よりも、さらに高度に、キメ細かくGUIでカスタマイズできるツールがAilurusだ。

# 奇跡の良ソフトを探し出せ 発掘!! お宝アプリ

インストールと起動

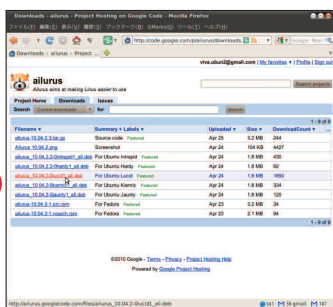
ココがスゴイ!!

CHECK POINT

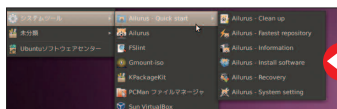
- システムのあらゆる情報が得られる!
- 導入が面倒なアプリの導入も簡単!
- システムの設定変更もラクラク!

## パッケージのダウンロード

バージョンを間違えると正常に動作しない。Ubuntu10.04の場合には、「lucid」用をダウンロード。



## Ailurusの起動



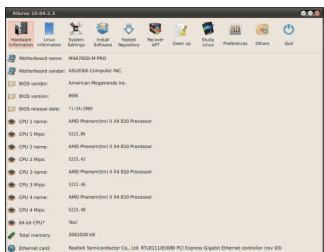
起動は [アプリケーション] - [システムツール] から。用途に応じて6つの単体アプリとしても起動できる。

## OSの情報



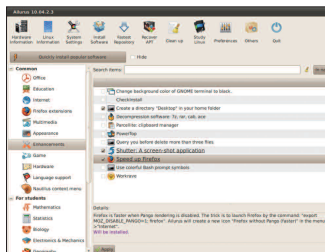
インストールされているLinuxカーネル、Xサーバ、ドライバーなどを表示。

## ハードウェア情報



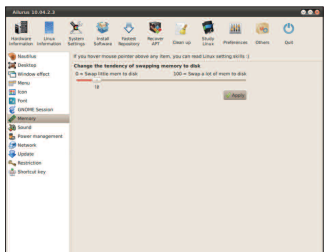
BIOSのバージョン、マザーボード、CPU、メモリなどの情報を表示。

## ソフトウェアの追加



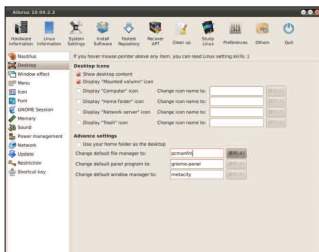
Firefoxの高速化設定をお任せで行ってくれるユニークなアプリなどを導入可能。

## スワップの設定変更



「Memory」スワップへの割り当て量を変更。スリープが不調時に試せる。

## システム設定変更



「Desktop」では、ファイルマネージャを軽量なPCmanFMに変更できる。

プロジェクトページから、Ubuntuのバージョンに適合したdebパッケージをダウンロードしよう。9・10はKarmic、10・04はLucidだ。クリックしてダウンロードしたものをダブルクリックしてGDebiパッケージインストーラでインストールしよう。

アップデートはAilurusはマメにアップデートが行われている。「Others」で更新を確認できるが、左ページで紹介する方法で、リポジトリを追加すれば、システムアップデートが更新してくれる。

Viva! Ubuntu!!

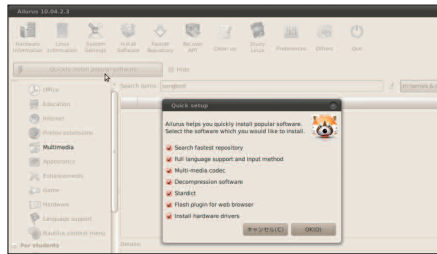
vol.04



文: U-bon

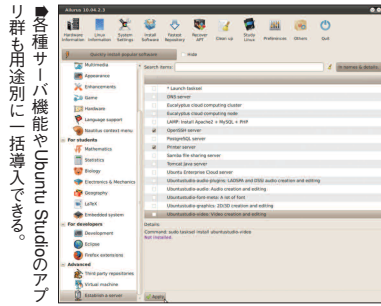
人気ブログ「Viva! Ubuntu!!」(<http://viva-ubuntu.net/>)の主宰者が厳選した「お宝」アプリをじっくり紹介! このアプリと使い方を知らないとは損しちゃう。

## オススメアプリの一括導入



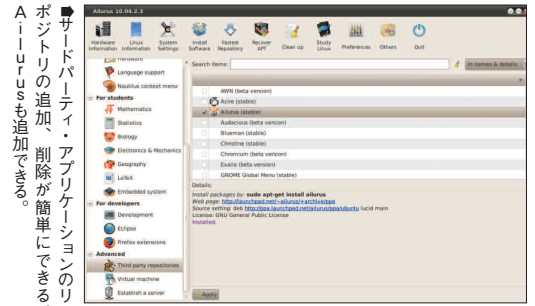
■マルチメディアコーデックや、圧縮/解凍ツールなどオススメアプリを一括で導入可能。

## サーバ構築、Ubuntu Studio



■各種サーバ機能やUbuntu Studioのアプリ群も用途別に一括導入できる。

## リポジトリの追加/削除



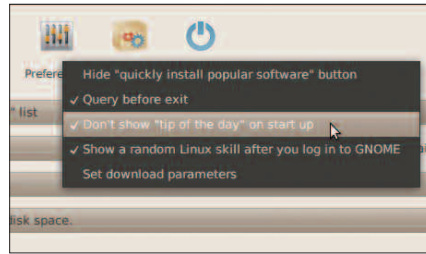
■サードパーティ・アプリケーションのリポジトリの追加、削除が簡単にできる。AURも追加できる。

## Linux関連情報



■「Study Linux」からLinux関連の有益な情報へのリンクが張られている。

## Ailurus自体の設定



■起動時に表示される「今日の豆知識=Tip of the day」の非表示などの設定は「Preferences」で。

## 不要ファイルのクリーンナップ



■不要なカーネルなどを検出し、一括して削除できる。ディスク容量の節約にも有効。

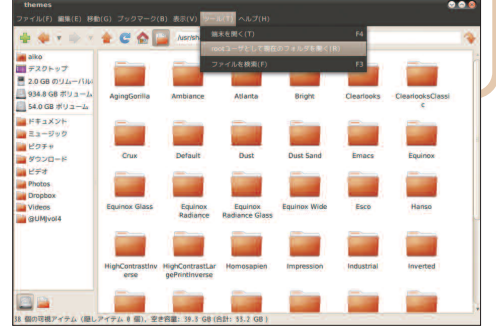
普段使いのほとんどの操作はこれで足りるのではないだろうか？ また、ゴミ箱機能がなくなったため、一度削除したファイル・フォルダは復活できない。ただし、sambaによるファイル共有は対応していないため、ネットワークリソースにアクセスする場合には、Nautilus、というように使い分けていくのがオススメだ。

比較的新しいパソコンなら軽快なUbuntuも、古いマシンになると重く感じてしまう。その大きな要因のひとつが、実はファイルブラウザ「Nautilus」が重いことにある。試しにこの「PCManFM」を追加でインストールしてみたい。パネル内にアイコンとして置いておくことで起動できて便利だ。非力なマシンであるほどその大きな違いがわかることだろう。



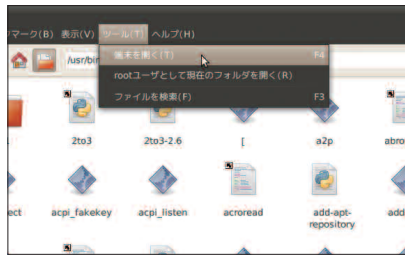
ファイルマネージャ二刀流！  
普段づかいはこれでいいかも？

# PCMan File Manager



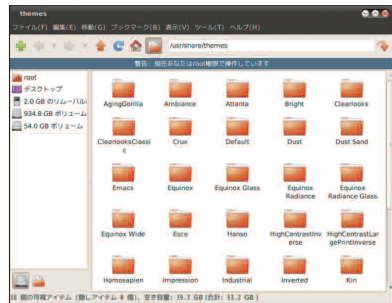
インストール方法 ソフトウェアセンターで検索してインストール

## 端末を開く



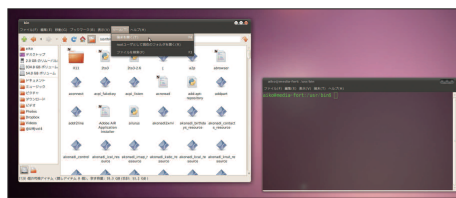
■同じく、「ツール」メニューには、「端末を開く」という項目がある。

## 管理者権限で操作できる



「ツール」メニューで「端末を開く」を選択すると管理者権限で開ける。

## 2度目以降は便利に！



■ターミナルが現れ、ディレクトリが「usr/bin」として開いて、即座に作業ができる。

## 初回だけはアラートが



■[OK]を押して現れる画面で端末の種類を選ぼう。標準の端末は「gnome-terminal」だ。

## 現在のディレクトリで端末を開く！



■例えば、Nautilusを開いている時にコマンド操作をしたい時、「端末を開く」を選ぶ。

## ココがスゴイ!! CHECK POINT

- 過去の写真を高速に探し出せる
- ウェブ版Picasaとの強力な連携機能
- 必要十分なレタッチ/編集機能

共有機能に優れたウェブ版 Picasa と連携

ウェブ版 Picasa はオンラインアルバムとして、友人との写真の共有など利便性が高い。Ubuntu で利用できるアプリケーションとして、Windows の 3.6 に遅れをとっているものの、ウェブ版と連携して十分に使える状態にある。以前は特に日本語表示がダメで、面倒な設定変更が必要だったが、その問題も解消されている。

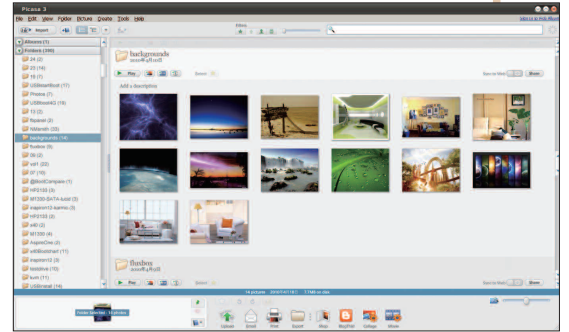


お宝 その3

グラフィックス

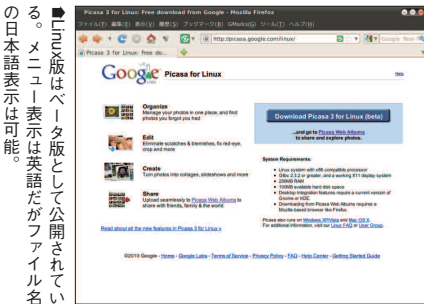
画像管理ソフトの定番 Picasa を Ubuntu で!

# Picasa 3



<http://picasa.google.com/linux/>

## Linux版 Picasa 3



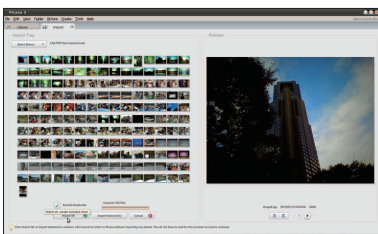
Linux版はベータ版として公開されている。メニュー表示は英語だがファイル名の日本語表示は可能。

**インストール方法**

右記ダウンロードページへアクセス。現在配布中のものはベータ版だ。

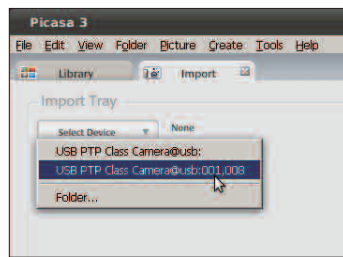
通常の 32 ビット版は、「for Debian/Ubuntu i386」64 ビット版の Ubuntu の場合は「for Debian/Ubuntu amd64」をいったん、ローカルにダウンロードしておこう。ダブルクリックして起動する「パッケージ・インストーラ」で追加できる。

## デジカメからの取り込み



カメラ内部がスキャンされ、重複写真は除外して取り込まれる。

## デジカメと接続

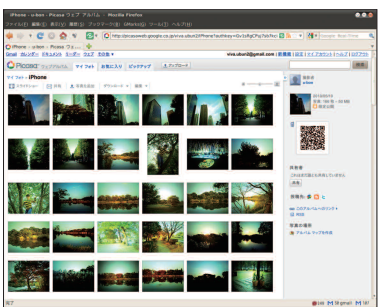


デジカメやiPhone/Androidなどをケーブルで接続し、「Import」で写真を取り込める。

**ウェブアルバムとの同期が便利!**

デジカメだと気軽に撮影できていいのだが、撮りっぱなしにしてしまい、整理もせずに放置状態ということが起こりがち。Picasa なら、ケーブルをつなぐだけで自動でスキャンしてくれ、新しい写真だけをハードディスクに取り込んで、時系列に並べて整理してくれる。大量の写真を探すのも高速なスクロールが便利。ウェブアルバムと同期させて、写真を公開すれば、ブログ用の写真としても使える。また、友達、親戚に限定して公開・共有すれば、焼き増し&配布の手間いらずとなる。

## ウェブアルバムとの同期完了

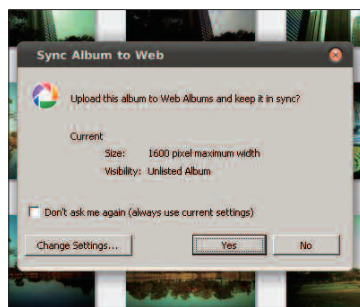


ローカルと同じ写真がウェブアルバムで公開、友達に見せられる。

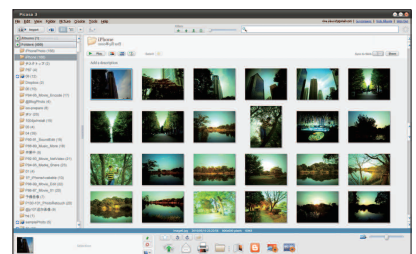
ウェブ版では顔照合技術による処理で、名前タグを利用することで検索/抽出が素早く行える。

## ウェブアルバムとの同期

「Sync to Web」ボタンのクリックでウェブアルバムと自動で同期。



## 取り込み完了



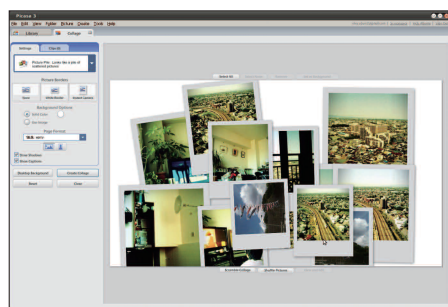
自動的にフォルダに分けてライブラリとして登録される。

## ウェブ版の名前タグは便利



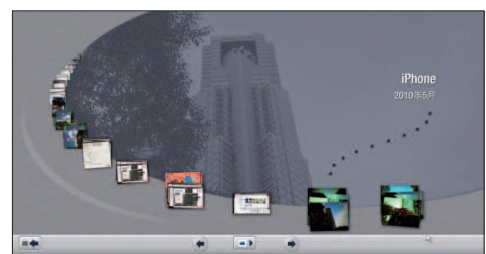
ウェブ版では顔照合技術による処理で、名前タグを利用することで検索/抽出が素早く行える。

## 編集機能



一般的な利用には十分なフォトレタッチ機能やコラージュなどの編集機能も充実している。

## タイムライン表示



画像を時系列で高速表示させながら表示する「タイムライン」でも観られる。

# 発掘!! お宝アプリ

ココがスゴイ!! CHECK POINT

- 多数のサイトから目的の動画を横断検索
- まとめて複数同時にダウンロード
- ダウンロード後に指定形式に自動変換

Ubuntu 10.04対応  
最新版ですますます便利に!  
オープンソースプロジェクトとして数年前から開発/リリースされている本アプリが、Ubuntu 10.04対応版でさらに大きく進化しました。従来は、ウェブブラウザで動画を再生し、そのURLを「xVideoServiceThief」に渡してダウンロードするという手順だったのだが、新たに検索機能を搭載。76の動画サイトから横断的に検索し、結果一覧からダウンロード指定を行い、順番に自動でダウンロードし、最後に指定の動画形式に変換して保存するという、まさに至れり尽せりのソフトとして大幅な機能強化を果たしている。

変換保存形式は、AVI、MP4、MP3、MP2、MPEG2、MPEG4、WMV、3GP、MP3。特にMP4は、iPod用、PSP用のフォーマイルに対応したフォーマットでの変換指定が可能。iPod形式にすれば、iPhone、Androidでも再生が可能だ。またMP3形式を指定すれば、サウンドだけを抽出してくれるので音楽プレイヤーでの再生も可能となる。インストールは、現状ではUbuntu対応のアプリが集積されているサイト「getdeb」(http://www.getdeb.net/) でダウンロード可能となっている。この場合、事前にリポジトリの追加が必要となるので、手順を参照して欲しい。なお、今後、入手方法が変わる可能性もあるので、インストールは、公式ページからたどっていくことをオススメする。

最後に指定の動画形式に変換して保存という、まさに至れり尽せりのソフトとして大幅な機能強化を果たしている。

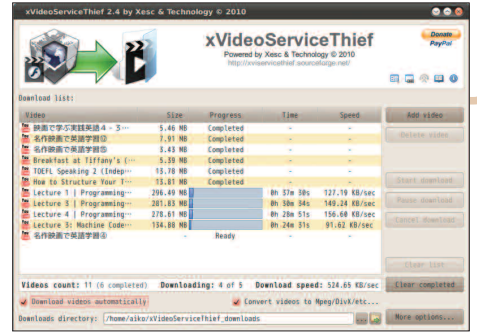


お宝 その3

サウンドとビデオ

ネット動画を検索  
まとめて次々にダウンロード

## xVideo ServiceThief



<http://xviservicethief.sourceforge.net/>

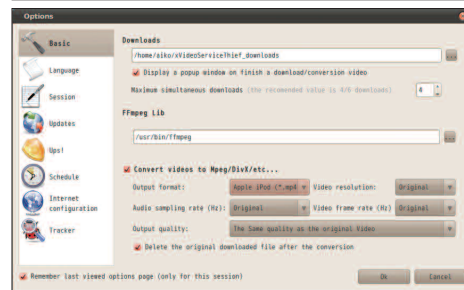


### STEP 01

### オプション画面で設定

### 準備

#### 動画検索の開始



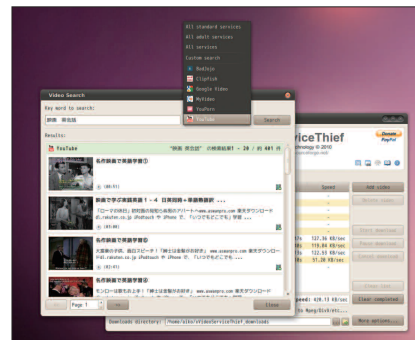
▼アプリ画面右上にあるアイコンの左端にある検索ボタンをクリックして検索開始。

▼動画の保存場所、ダウンロード後の変換形式などは、「More Options...」から設定できる。



### STEP 03

#### ダウンロード対象を指定



### STEP 02

#### 検索結果の表示

▼検索結果表示の再生ボタンで内容を確認、フィルムアイコンでダウンロード指定を行う。

▼検索ワードは日本語でOK! 検索対象の動画サイトを指定して、「Search」をクリック。

### アプリケーションのインストール

### getdebのリポジトリを追加

### Ubuntuパッケージの選択

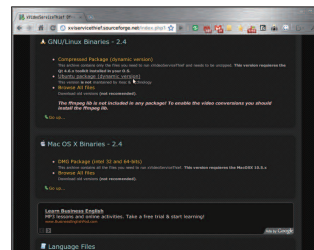
### 公式サイトトップページ



▼「xVideoServiceThief」のページで「Install this now」をクリック。



▼画面上部の「Click here to learn...」で「getdeb」のリンクをクリックすればリポジトリの追加が自動的に行われる。



▼「Ubuntu package」をクリックしてアプリケーション配布サイトへジャンプ。



▼公式サイトのトップにある「DOWNLOAD NOW!」をクリック。

インストール方法